

S I P 第 3 期「先進的量子技術基盤の社会課題への応用促進」 社会実装に向けた戦略及び研究開発計画の変更について

令和 5 年 11 月 16 日
先進的量子技術基盤の社会課題への応用促進
プログラムディレクター 寒川 哲 臣

今般、先進的量子技術基盤の社会課題への応用促進においては、研究開発計画の一部変更が生じたため、社会実装に向けた戦略及び研究開発計画の変更を行いたい。主な変更点は以下のとおり。

1. II. 社会実装に向けた戦略

「3. ミッション到達に向けた 5 つの視点での取組とシナリオ」について、
②事業として、新事業やスタートアップの創出支援に、「既存企業のカーブアウト含む」ことを追記。
「6. 対外的発信・国際的発信の連携」として、「2025 年開催の予定の日本国際博覧会(大阪・関西万博)において、本課題に関連するコンテンツの出展・展示を行う」ことを追記。

2. III. 研究開発計画

公募・採択を受けて、「①研究開発目標」「②実施内容」を具体化、「③実施体制」「④研究開発に係る工程表」「⑤予算配分額」を追記。

3. IV. 課題マネジメント・協力連携体制

サブ課題「量子コンピューティング」「量子センサ」のサブ PD を新たに設定。
公募・採択を受けて、「4. 研究テーマ間連携」「5. SIP 課題間連携」を具体化。

4. V. 評価に係る事項

「2. 実施体制」(1) 構成員(担当・履歴を含む)について、
ピアレビュー委員が令和 5 年 10 月 5 日のガバニングボードで承認されたことを受け、追記。

以上